

# 2019年日本生活教育連盟第71回夏季全国研究集会

主催 日本生活教育連盟 第71回日生連夏季全国研究集会愛知集会実行委員会

後援 愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会

**研究主題 「今こそ 子どもの真実にむきあい、主体者として育てる」  
～子ども・親・教師が共に学び育ち合う教育の創造を～**

**日 時 2019年8月9日（金）～8月11日（日）**

**研究会場 名古屋大学 東山キャンパス 〒464-8601 名古屋市千種区不老町**

**日 程**

	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
8日 (木)								拡大常任 委員会	分科会代表 世話人会				
9日 (金)	受付	生活教育講座	昼食	分科会①			移動	実技講座	移動	会員総会			
10日 (土)	受付	分科会②		昼食	開会全体会 記念講演		移動	分科会③	移動	レセプション			
11日 (日)	受付	分科会④	移動	閉会 全体会									

## ごあいさつ

### 新たな出会いと学び合いの場で、教育の未来を切り拓く展望を

実行委員長・名古屋大学大学院准教授 石井拓児

日本生活教育連盟（日生連）は、1948年にコアカリキュラム連盟として発足し、民間教育研究サークルの草分け的な存在として今日に至っています。仲間どうし、手弁当で集い、実践交流と研究を積み重ねてきた長い長い歴史を感じます。教育実践と理論を結合させ、生活教育のあり方を探求してきたその成果は、日本の学校・教育文化に広く深く根付かせてきているのではないのでしょうか。今年、夏季全国研究集会は71回目を迎えます。

この集会が愛知県で開催されるのは、通算6回目です。名古屋大学を会場に、全国から集うみなさんにとって、学び合い、つながり合える場となるよう準備を進めていますので、お一人でも多くの方々にご参加いただければと願っています。

いま、子どもも教職員もたいへんな困難に直面しています。その背景に、地域コミュニティの厳しい現実があり、働く人々の生活の不安定化があり、あるいは家庭や子育て環境の劇的な変動といったことがあることは間違いないでしょう。今こそ生活教育の理念に立ち返り、学校教育のあり方が追究されなければならないと強く感じます。

全国各地で進められている、子どもたちを生活と学びの主体として位置づけ育む豊かな教育実践を持ち寄り、交流し合いたいと思います。実践の悩みや苦しみも率直に語り合い、ベテランから若い教師まで、そして保護者や地域の方々とも一緒になって学び合い、教育の未来を切り拓く展望をつかみましょ。

名古屋でお会いできるのを、心より楽しみにしています。



**開会全体会** 8月10日(土) 13:00~15:45

○13:00 開会行事とご挨拶 実行委員長 名古屋大学大学院准教授 石井拓児

○13:15 現地基調 **「いのち輝く瞬間を仲間と共に」**

実践報告

～肢体不自由の人形劇団誕生物語～

**南 寿樹 氏** (NPO法人くるみの会理事 元養護学校教員)○14:00 記念講演 **「ちひろと絵本の世界 —絵を読む楽しさ—****松本 猛 氏**(元安曇野ちひろ美術館館長 美術・絵本評論家)**生活教育講座** 8月9日(金) 10:00~12:00

① 生活教育とは何か～

「梅根悟その生涯としごと」に学ぶ～

田村真広 (日本社会事業大学/日生連研究部長)

② 学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業

渡辺恵津子 (大東文化大学/日生連副委員長)

③ 子どもが見えてくる実践と記録

竹沢 清 (日生連愛知サークル)

④ 愛知の平和教育

山田 隆幸 (愛知平和遺族会/日生連愛知サークル)

**実技実践講座** 8月9日(金) 16:00~17:45

① 紙芝居の楽しさを子どもたちに

野間 成之 (日生連石川サークル)

② 子どもが喜ぶ手作り工作

鬼頭 正和 (日生連愛知サークル)

③ 子どもと楽しむ科学遊び

徳田 清孝 (NPOつなハピ)

④ パネルシアターの世界を楽しもう

田辺 基子 (神奈川工科大学/日生連研究部)

⑤ 心と体を解放するリズム遊び

富岡 美織 (北の星東札幌保育園園長)

⑥ 子どもと楽しむけん玉

高橋 賢一 (尾張旭・地域活性化協議会代表)

**分科会**

8月 9日(金) ①13:00~15:40

8月10日(土) ② 9:30~12:00 / ③16:00~17:30

8月11日(日) ④ 9:30~11:10

分科会	分科会の研究テーマと予想される討議の柱	世話人(太字は代表)
1 ことばと教育	日本語を楽しみ深め認識・内面・表現・関係を豊かにしていく教育 ①ことば・国語科教育をめぐる各地の状況と各自の問題意識 ②日本語を楽しみ深め認識・内面・表現・関係を豊かにしていく国語科の授業 ③全ての学校教育活動、地域活動や家庭において認識・内面・表現・関係を豊かにしていく言語活動(学級討論・自由作文・発表・読書・演劇・紙芝居など) ④作文や発言の中から子どもの表現と心を読む ⑤子どもの求めることばの教育のあり方を考える	<b>鎌倉 博</b> 金田一清子 桑原英代 岡村保子 小川貴弘 五十嵐俊二
2 算数数学	子どもと拓く算数・数学 ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化	<b>関 忠和</b> 入沢雅代 行田稔彦 渡辺恵津子 中村潤 根路銘結奈

		<p>④生活と算数の結びつきと教育課程</p> <p>⑤学びを作り出す指導法と教具</p> <p>⑥確かな学びと少人数指導のあり方</p>	
3	社会科	<p>子どもと共に社会を学び、希望を育む</p> <p>①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと</p> <p>②討論・交流の場の設定と共通課題・個人課題の誕生</p> <p>③実践で生まれた学びと生きる喜び・希望</p> <p>④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性</p>	<p>北川 茂</p> <p>外山英昭 松村一成加 藤 博之 宮丸賢一 杉見朝香</p>
4	生活科 と 総合学習	<p>学び合いや協同学習、アクティブラーニング、カリキュラムマネジメントを組み換えるような実践と視点を</p> <p>①子ども達も教師や大人たちも意欲を沸かせ、課題を探究し合い、ともに創り出せる活動を</p> <p>②子ども達の生活と地域・社会の問題(環境・健康、平和・国際など)が連続する点をとらえ、ひとまとまりの活動を組む</p> <p>③生活・活動を広げ深めるためにも、教科、科学、文化やその研究を存分に組み合わせる</p> <p>④全体を通じてどんな学力・能力が養われるかを、私達の言葉とエピソードで表現する。(単元習作ワークショップ)</p>	<p>金馬 国晴</p> <p>村越含博 迫田 実 高橋公平 和田 仁</p>
5	小学校の 生活指導 (人間関係 づくり)	<p>親と子と教師が「安心・自信・自由」でつながれる学級・学校</p> <p>①「不登校・いじめ・暴力」などに見られる子ども達の疎外状況を克服する指導</p> <p>②「荒れる子」「キレル子」の内面と背景を大切にしたい生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動</p> <p>③父母・地域の人々・職場の同僚との共同による学級・学校づくり</p> <p>④子どもと教師・父母が本音を出し合い、遊び心でつながる学級・学校づくり</p>	<p>中里明雄</p> <p>宮城健太 阿部 賢 宮城アケミ 阪本 智 藤原健一 吉岡駿太郎</p>
6	乳幼児期 の 教育	<p>乳幼児期から小学校低学年の子どもの発達を支える実践とは～こどもの成長にとって根っこになるこの時期、幼・保・小・大そして親と子どもを取り巻く人とつながって、つくる分科会～</p> <p>①乳幼児期から小学校低学年の子ども(幼年期)の発達課題と子どもが育つ活動・実践の研究</p> <p>②今、子どもが育つ環境はどうあるのか…家庭の問題、貧困(経済的、社会的、人間関係)虐待問題など、それにどう立ち向かうか</p> <p>③子どもの発達を支援する縦(幼・保・小・大)の連携、横(親、地域)の連携のあり方</p> <p>④保育所保育指針、幼稚園教育要領、小学校学習指導要領の改訂で現場はどうなっているのか学習交流</p>	<p>中河原良子</p> <p>望月 彰 山田隆幸 吉田真弓 富岡美織 吉野裕之 田島聖子</p>
7	中学・ 高校・ 大学教育	<p>中高大学生の発達と学力の課題は何か?</p> <p>①中学・高校・大学の子どもたちの育ちの現状と背景について交流しよう。その上で思春期の育ちにおける課題を、学力面・生活面、一人ひとりのつながりあいに関心を合わせながら明らかにしよう</p> <p>②子どもたち自身の自治と参加による学校、学年、学級づくりの手</p>	<p>浦島 清一</p> <p>木村勝保 木村久男 宮崎博史 赤城貴紀</p>

		だてを明らかにしよう ③教職員の共通理解を進める中で、一人ひとりの教職員が力を発揮し、協力・援助しあう学校づくりの手だてを明らかにしよう	
8	障がい児教育	生活と学習の主体者を育てる障がい児教育 ①子どもをどうとらえるか（「問題行動」と内面理解） ②教育内容をどうつくるのか（基礎的・日常的な生活活動／科学や文化の学習／文化集団活動） ③学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか	井関 美季 竹田一博 竹沢清 川口慎司 加藤登美子 久保田優美子
9	能力・発達と評価	子どもたちの学びをとらえる教師のまなざし ①子どもの発達や評価をめぐる新たな課題の共有 ②子どもの学びに迫り得た実践報告の検討 ③子どもへのまなざしを支える教師の専門性 ④生活教育実践史における学びのとらえやみとり	谷保裕子 横田文夫 横山尤子 瓦林亜希子 大島 崇
10	教育と子育て	つながり合って育つ ～子ども、教師、保護者・地域の支え合い～ ①「子ども・おとなたちの生きづらさ」の理解を深め、生活を通して改善していく取組み ②「子どもたちのしんどさ・困りごと」に寄り添い、支える取組み ③学校・家庭・地域がつながり合い、支え合うチーム・体制づくりの取組み ④競争と自己責任を強いられる社会にあって、子ども達を守り、彼らを生活主体者として育てる取組み	山岡 雅博 春日井敏之 北村和美 堀江理砂 荒木寿友 安原陽平 長堂登志子 西本勢津子

## レセプション

8月10日（土）18：00～20：30

名古屋大学 南部生協（教育学部玄関の前）

## 閉会全体会

8月11日（日）11：30～12：30

ミニ講演 「学校づくりの困難をどうとらえ、どう切り拓いていくか」

石井拓児（第71回日生連夏季全国研究集会実行委員長 名古屋大学大学院准教授）

### 《 レポート参加について 》

●分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連研究部に、7月25日までにご連絡ください。

田村真広 FAX 042-496-3152 [mail](mailto:tamura@jcs.ac.jp) tamura@jcs.ac.jp

●レポートを郵送される方は、「日生連大会資料」と明記し、下記までお送りください。（7/31日締切）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学教育学部 石井拓児研究室 気付

### 《問合せ》

●研究集会企画 日生連事務局長 和田 仁 [mail](mailto:qwu01073@nifty.com) qwu01073@nifty.com 042-736-0036（和光鶴川小）

●大会全般 現地事務局長 鬼頭正和 [mail](mailto:rmfj738@yahoo.co.jp) rmfj738@yahoo.co.jp 052-453-4310（自宅）

●参加申込み 会計担当 原田宏美 [mail](mailto:hhiromi1226@yahoo.ne.jp) hhiromi1226@yahoo.ne.jp 0587-66-6894（自宅）

## 参加申し込み要項

1. **参加費** 教職員・元教職員 6,000円  
一般（父母・学童指導員等） 3,000円  
学生・院生 2,000円

- ・日生連2018年度会員は500円引きです。
  - ・1日参加 教職員 3,000円  
一般 1,500円 学生 1,000円
  - ・当日参加受付は可能です。ただし、会場準備の都合上事前申込みにご協力ください。
- ※記念講演のみの場合 1,000円

2. **昼食代** 1食 800円（お茶つき）

- ・8月9日・10日の2日間のみ
- ※お弁当は生協の物です。コンビニはありますが夏休みなので数量が少ない事が予想されます。

3. **レセプション代**

- 大人 5,000円  
大学生・大学院生 3,000円  
小・中・高校生 2,000円

- ・夕食を兼ねた交流会です。
- ・楽しい出し物あり。アルコール類・ソフトドリンクなどの飲み物あり。ぜひご参加を!
- ・事前申込みをお願いします。

4. **子ども学校・保育料** 実費（申込書参照）

- ・事前申込みが原則です。（締切7月末日厳守）
- ・子ども学校は小学生のみ、保育は3歳以上の幼児が対象です。
- ・おやつ・活動費が含まれます。  
9日（金）10日（土）はお弁当がつきます。
- ・活動内容によっては、入館料等の実費を追加徴収させていただきます。

5. **宿泊** ご自身でご予約ください。

《現地から宿泊予約のご案内》

- ①地下鉄乗り換えなしが良い場合は金山駅周辺で。
- ・名鉄イン金山アネックス（金山駅から徒歩3分）
  - ・ビジネスホテル名鉄イン名古屋金山（金山駅から徒歩2分） ①②共 TEL052-323-3434  
①②共 シングル一泊7500円～
- ※①②は隣接の系列ホテル
- ①は2018年10月29日オープンの新館です。
- ②乗り換えが大丈夫な方は、伏見・今池等に格安のホテルもあります。

## 《事前申し込み7/20まで》

※名古屋も外国人観光客が多く、お盆近くでもあり、混雑が予想されます。早めの予約を!

### 《キャンセル》

- ・事前申込みされたものをキャンセルされる場合は、一定のキャンセル料をいただきます。
- ・参加費につきましてはお返しできません。後日、大会資料をお送りいたします。
- ・昼食代・レセプション代・子ども学校・保育料は、3日前までのキャンセルなら後日返金いたします。

### 《申込み方法》

◆銀行振込一別紙の申込書をメール・FAXしてください。

①ゆうちょ銀行

店名二一八 店番218 記号 12170  
普通預金口座 5310914 原田宏美

②十六銀行 岩倉支店 普通口座 1287376

日生連愛知サークル 会計 原田宏美

◆FAX・現金書留

- ・別紙申込書をメール・FAXで送ってください。その後、現金書留で原田宛にご送金ください。

送付先

〒482-0006 岩倉市稲荷町羽根21-4

原田宏美 宛 TEL・Fax 0587-66-6894

### 会場案内 名古屋大学（東山キャンパス）

- ①JR・近鉄・名鉄各名古屋駅から  
→地下鉄東山線「本山」下車乗り換え  
→名城線右回りで「名古屋大学」
- ②JR・名鉄金山駅から  
→地下鉄名城線左回り「名古屋大学」
- ③中部国際空港から  
→名鉄特急「金山」下車・地下鉄に乗り換え  
→② ※金山には全列車停車
- 地下鉄名城線「名古屋大学」下車1番出口から  
まっすぐ 教育学部正面受付へおいで下さい。  
（地図をご覧ください）



# 2019年日本生活教育連盟第71回夏季全国研究愛知集会 参加申し込み書

- 7/20までに申し込んでください。ご協力を御願います。
- 「分科会」「生活教育・文化活動実技講座」の数字を記入して下さい。
- 該当する欄に○をし、金額をご記入いただき、合計金額も計算してご記入下さい。  
※Excelの場合は自動計算されますので、人数入力のみでかまいません。
- 家族で申し込む場合も、お手数ですが一枚ずつご記入下さい。子どもさんは下欄へ。

振り込み日及び送金金額 ( 月 日 )	
合計	0

お名前	フリガナ( ) 男・女	*受付番号(実行委員会記入)	
ご住所	〒	電話	FAX
		E-mail	

2018年度名簿からの変更 (有・無) 変更内容⇒( )

勤務先	勤務先名( )		
分科会番号( )	生活教育講座番号( )	実技講座番号( )	

項目	内容	金額	該当に1	合計金額	備考
日生連会費	登録更新・新規加入	4,000		0	2019年度(～2020年8月)分
『生活教育』 購読料	年間購読料	9,600		0	送料込み
	新規購読	5,600		0	送料込み(9月～3月)
		金額	該当に1		
参加費	教職員・退職教職員	6,000		0	
	市民・父母	3,000		0	
	大学生・大学院生	2,000		0	
	(日生連会員)教職員	5,500		0	2018日生連会員名簿掲載者
	(日生連会員)市民・父母	2,500		0	2018日生連会員名簿掲載者
	1日のみ参加(教職員)	3,000		0	
	1日のみ参加(市民・父母)	1,500		0	
	1日のみ参加(大学生・大学院生)	1,000		0	
屋食代	9日(金)集会1日目	800		0	
	10日(土)集会2日目	800		0	
10日(土) レセプション	大人	5,000		0	
	中・高・大学生大学院生	3,000		0	
	小学生	2,000		0	

宿泊・航空券の手配は、各自で行ってください。

子ども学校 (小学生)	8月9日(金)10時～18時	2,500		0	おやつ・屋食を含む
	8月10日(土)9時～18時	2,500		0	おやつ・屋食を含む
	8月11日(日)9時～12時	1,000		0	おやつを含む
保育 (3歳～就学前)	8月9日(金)10時～18時	2,500		0	おやつ・屋食を含む
	8月10日(土)9時～18時	2,500		0	おやつ・屋食を含む
	8月11日(日)9時～12時	1,000		0	おやつを含む

総合計金額記入 0 ←エクセル使用時は自動で計算されます。

利用幼児・児童氏名	(カタカナ) ( )歳 氏名 男・女 既往症	(カタカナ) ( )歳 氏名 男・女 既往症
-----------	---------------------------	---------------------------

備考<ご連絡・ご要望がありましたらお書き下さい>

- メールされる方は愛知サークルHPよりエクセルをダウンロードして、hhiromi1226@yahoo.co.jpに送信して下さい。
- FAXされる方はこの用紙に記入してFAX送付先に送って下さい。 FAX送付先 0587-66-6894(原田宏美)
- メールとFAXで申し込まれた方のお金の振込先は以下の通りです。  
<振込先>① ゆうちょ銀行 店名二一八 店番218 普通預金口座5310914 記号12170 原田宏美  
② 十六銀行 岩倉支店 普通預金口座1287376 日生連愛知サークル 会計 原田宏美
- 郵送される方は、現金書留封筒にこの用紙を同封し、送り先まで送って下さい。  
現金書留送り先 〒482-0006 愛知県岩倉市稲荷町羽根21-4 原田宏美宛 Tel・Fax 0587-66-6894